

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-342118

(P2000-342118A)

(43)公開日 平成12年12月12日(2000.12.12)

(51)Int.Cl'

A 01 K 85/16  
85/00

識別記号

P I

A 01 K 85/00

コード(参考)

F 2 B 1 0 7  
Z

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全7頁)

(21)出願番号

特願平11-153687

(22)出願日

平成11年6月1日(1999.6.1)

(71)出願人 000006943

リヨービ株式会社

広島県府中市目崎町762番地

(72)発明者 重藤 秀俊

広島県府中市目崎町762番地 リヨービ株  
式会社内

(74)代理人 100083839

弁理士 石川 泰男

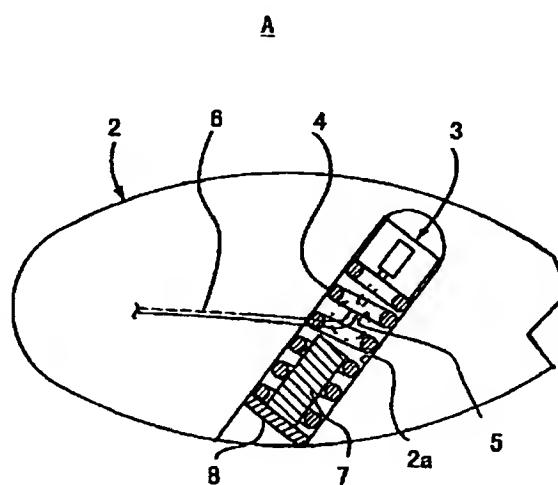
Fターム(参考) 2B107 BA42 BA46 BA70

(54)【発明の名称】 ルアー

(57)【要約】

【課題】 釣り糸の張力によってルア一本体の重心を左右方向に移動させることによって、ルアの遊泳を不規則にし、傷ついて弱った魚の動きをもたらすことによって、大きな釣果の向上を図ることができるルアを提供する。

【解決手段】 ルア一本体1、21の中心軸線CLに対して所定の角度θで交差してルア一本体1、21の左右方向に伸びるように錐収容室2a、12a、22aを形成する。錐収容室2a、12a、22a内に錐3を移動可能に配置すると共に、錐3を錐収容室2a、12a、22aの一方の側に付勢する付勢手段4を設ける。ルア一本体1、21の実質的に中心軸線CL上の位置において、錐収容室2a、12a、22aをルア一本体1、21の外部に連通するガイド孔5、5a、5bを形成する。ガイド孔5、5a、5bから錐収容室2a、12a、22a内に挿入した釣り糸FL又は一端に釣り糸FLを連結した連結部材6を錐3に連結する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ルア一本体の中心軸線に対して所定の角度で交差して前記ルア一本体の左右方向に伸びるように錘収容室を形成し、

前記錘収容室内に錘を移動可能に配置すると共に、前記錘を前記錘収容室の一方の側に付勢する付勢手段を設け、

前記ルア一本体の実質的に前記中心軸線上の位置において、前記錘収容室を前記ルア一本体の外部に連通するガイド孔を形成し、

前記ガイド孔から前記錘収容室内に挿入した釣り糸又は一端に釣り糸を連結した連結部材を前記錘に連結したことと特徴とするルア。

【請求項2】 前記錘の前記付勢手段による付勢される方向への移動量を規制する停止位置調整手段を前記錘収容室の一端に設けたことを特徴とする請求項1に記載のルア。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ルア、特に、クランクベイト、バイプレーションプラグ等に代表される所謂「ハードルア」に関する。

## 【0002】

【従来の技術】一般に、ルアにおいては、魚形等に擬製させて形成したルア一本体の中央部より前方下部に錘を設け、リーリング時等に恰も魚が尾を振って泳いでいるように見せて釣果を高めるように構成されている。

【0003】しかしながら、上述したように、単にルア一本体の前方下部に錘を設けたのみでは、ルアの飛行中の姿勢が不安定になるばかりか、ルアが回転して飛距離が伸びなかったり、目的のポイントに投げ入れることができないという問題があった。

【0004】このような問題を解決するために、実公平3-15021号公報には、ルア一本体の前後方向に長く錘収容室を形成し、この錘収容室内に中心線に沿って前後方向に移動自在に錘を収納することによって、キャスティング時に錘をルア一本体の後部に移動させて、ルアの飛行姿勢の安定化を図り、もって、ルアの飛距離の伸長を図ると共にキャスティングコントロールの向上を図ることが開示されている（以下、「先行技術1」という）。

【0005】又、特開平10-136834号公報には、ルア一本体に設けられた潜水錘と水平錘とをリーリング時の釣り糸の引張力によってバネの付勢力に抗してルア一本体から引き出し、もって、浮き沈み運動を制御するルアが提案されている（以下、「先行技術2」という）

## 【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、先行技術1によれば、ルアの錘は、キャスティング後におい

て、錘収容室の前端に設けられた磁石によって錘収容室の前方側の位置に保持されるため、リーリング時における遊泳姿勢は通常のルアと実質的に変わるものではない。

【0007】又、先行技術2に開示されたルアも單に浮き沈みするだけのものであるため、大きな釣果の向上を図ることは困難である。

【0008】尚、ジギング用ルアにおいて、ルア一本体を平面において左右非対称形状に形成したものが提案され、使用されているが、これも、リーリング時に釣り糸の張力によって円運動をしながらきりもみ状に上昇・沈降するのみであるため、大きな釣果の向上を図ることは困難である。

【0009】本発明の目的は、リーリング時の釣り糸の張力によってルア一本体の重心を左右方向に移動させることによって、ルアの遊泳を不規則にし、傷ついて弱った魚の動きをもたらすことによって、大きな釣果の向上を図ることができるルアを提供することにある。

## 【0010】

【課題を解決するための手段】上述した課題を解決するために、請求項1の本発明は、ルア一本体（1、21）の中心軸線（CL）に対して所定の角度（θ）で交差して前記ルア一本体（1、21）の左右方向に伸びるように錘収容室（2a、12a、22a）を形成し、前記錘収容室（2a、12a、22a）内に錘（3）を移動可能に配置すると共に、前記錘（3）を前記錘収容室（2a、12a、22a）の一方の側に付勢する付勢手段（4）を設け、前記ルア一本体（1、21）の実質的に前記中心軸線（CL）上の位置において、前記錘収容室（2a、12a、22a）を前記ルア一本体（1、21）の外部に連通するガイド孔（5、5a、5b）を形成し、前記ガイド孔（5、5a、5b）から前記錘収容室（2a、12a、22a）内に挿入した釣り糸（FL）又は一端に釣り糸（FL）を連結した連結部材（6）を前記錘（3）に連結したことを特徴とする。

【0011】請求項2の本発明は、請求項1のルアにおいて、前記錘（3）の前記付勢手段（4）による付勢される方向への移動量を規制する停止位置調整手段（7）を前記錘収容室（2a、12a、22a）の一端に設けたことを特徴とする。

## 【0012】

【発明の実施の形態】本発明の第1実施形態に係るルアを、図1乃至図5を参照して以下に説明する。このルアAは、クランクベイトとして構成されたもので、リップ2を備えたルア一本体1と、一対のトレブルフックH1、H2とを備えている。

【0013】ルア一本体1は、木材、合成樹脂等から成形されたもので、その全体に亘って、小魚を模倣した模様や、様々な色彩パターンを施すことによって、小魚等の餌に擬製させている。

【0014】ルアーボディ1の内部には、ルアーアの重心を調整するための錐を配置してもよい。勿論、この錐は、ルアーアの飛行姿勢を安定させて、飛行距離を長くするために、ルアーボディ1内を移動可能にしてもよく、また、この錐によって、集魚効果を有する音、所謂、ラトルサウンドを発生させることもできる。

【0015】上述したルアーボディ1の先端には、リップ2が設けられている。このリップ2は、透明な合成樹脂から成形されている。このリップ4の長さは、潜行限界深度に応じて予め決定される。

【0016】リップ2には、錐収容室2aが形成されている。ルアーアの平面図である図3から明らかのように、錐収容室2aは、その軸線L1に対して所定の角度θで交差するように、リップ2の左右方向に伸びている。この所定の角度θは、約5度から約60度の範囲内であることが望ましい。錐収容室2aの一端は閉塞され、その他端はリップ2の側面に開口している。

【0017】錐収容室2aには、錐3が移動可能に配置されている。錐3は、鉛、タンクスチール、スチール、真鍮等の比重の大きい材料からなり、図5に示すように、錐本体3aと、その上面に設けられた突部3bとから構成されている。この突部3bには、後述する釣り糸FL又は連結部材6を連結するための孔3cが形成されている。錐収容室2aは矩形状の横断面形状を有しているため、ここに収容される錐3も、その形状に一致するよう、立方体の形状を有しているが、錐3の形状を、錐収容室2aの横断面形状に一致するように変化させてもよく、例えば、錐収容室2aが円形の横断面形状を有している場合には、錐3を円柱状に形成してもよい。

【0018】上述したリップ2の上面において、ルアーボディ1の実質的に中心軸線CL上の位置には、錐収容室2aをリップ2の上面側の外部に連通するガイド孔5が配置されている。このガイド孔5は、セラミックス、金属等のリングから構成されており、釣り糸FLや後述する連結部材6の摩耗を防止するように、リップ2の孔部2bに嵌合されている。

【0019】錐収容室2a内には、付勢手段としてのスプリング4が配置され、錐3を後方側に押圧している。即ち、錐収容室2aの開口端には、これを閉塞するための栓8が取付けられるが、この栓8と錐3との間にスプリング4が配置されている。従って、錐3はスプリング4によって、図4において右上方向に常に付勢されている。防錆性に鑑み、スプリング4の材料として、ステンレス鋼や合成樹脂を使用することが望ましい。

【0020】上述した栓8は、錐収容室2aの開口端に着脱可能に取付けられるものであればよく、例えば、栓8の外周に雄ネジ部を形成する一方、これに対応する雌ネジ部を錐収容室2aの開口端に形成し、栓8をこの開口端にねじ込むことによって固定するものでもよい。

【0021】栓8の裏面側には、停止位置調整手段7が設けられている。この停止位置調整手段7は、錐3のスプリング4による付勢される方向への移動量を規制するよう、栓8の裏面から錐3側に向かって突出する円柱状ストッパーとして構成されている。この第1実施形態においては、錐3がスプリング4に抗して、停止位置規制手段7側に移動して、その先端が錐3に当接した状態において、錐3の突部3bが上述したガイド孔5の下方に位置する。この停止位置調整手段7は、スプリング4を案内する機能をも有する。

【0022】尚、上述したように栓8を錐収容室2aの開口端にねじ込むように構成すれば、そのねじ込み量に応じて、停止位置規制手段7の位置が変化し、これにより、錐3の移動限界位置を調節することができる。

【0023】上述したように錐収容室2a内に収容された錐3の孔3c(図5参照)には、連結部材6の一端が連結されている。この連結部材6は、伸び難くしかも可撓性を有する線材からなり、その他端は、図2から最も良く理解されるように、ガイド孔5を通じてリップ2の外側に出されている。この線材の他端には、環状部6aが設けられ、この環状部6aに釣り糸FLの先端が連結されている。

【0024】上述したルアーボディ1の下面中央部及び後端部には、フック取付け用のアイ1a、1bがそれぞれ設けられており、上記アイ1aに前方のトレブルフックH1がスリットリングS1を介して取り付けられており、上記アイ1bに後方のトレブルフックH2がスリットリングS2を介して取り付けられている。

【0025】次に、上述したルアーアの使用方法を説明する。先ず、リール(図示せず)を装着したロッド(図示せず)の穂先ガイドから出た釣り糸FLの先端を、上記連結部材6の環状部6aに連結する。キャスティング後、リールの巻上げ操作により、ルアーアをリトリーブすると、釣り糸FLの張力により、錐3はスプリング4に抗して停止位置調整手段7側に移動して、これに当接する。このとき、錐3の突部3bがガイド孔5の下方に位置し、この状態では、錐3がルアーアの平面図において、中心軸線CLを通る平面上に位置し、その結果、ルアーアの重心もこの平面上に位置する。従って、ルアーアは、従来のクランクベイトと同様に、左右に実質的に同一の揺れ量をもって、ウォブリングアクションを繰り返しながら潜行する。

【0026】ここで、ルアーアの潜行中、リップ2は水の大きな抵抗を受けているため、リールの巻上げ操作を停止して、釣り糸FLの張力を小さくすると、錐3がスプリング4によって、停止位置調整手段7から離れる方向に移動する。これにより、錐3は、ルアーアの平面図において、中心軸線CLを通る平面を基準として、一方の側、即ち、図3において上方側に移動し、その結果、ルアーアの重心も同一方向に移動する。従って、ルアーア

Aは水中において横に倒れ、恰も傷ついてのたうち回る魚のようなアクションをもたらすことができ、換言すれば、対象魚の活性を高め、釣果を向上することができる。

【0027】上述した実施形態においては、錐3の孔3cには連結部材6の一端が連結されているものとして説明したが、このような連結部材6を使用することなく、釣り糸FLの先端を錐3の孔3cに直接的に連結してもよい。

【0028】次に、本発明の第2実施形態に係るルアーを、図6及び図7を参照して以下に説明する。このルアーブも、上述したルアーアと同様にクランクベイトとして構成されている。ルアーブは、リップ12が異なる形状の錐収容室12aを有しており、その両端部が栓8及び錐位置調整体19によってそれぞれ閉塞されることを除き、上述した第1実施形態に係るルアーアと同一である。従って、同一の構成要素に同一の符号を付し、その説明を省略する。

【0029】リップ12に形成された錐収容室12aは、第1実施形態におけると同様に、その軸線がルアーブの中心軸線に対して所定の角度で交差するように、リップ12の左右方向に伸びているが、この錐収容室12aの両端は、リップ12の両側面にそれぞれ開口している。即ち、錐収容室12aはリップ12を水平方向において貫通している。

【0030】図6から明らかなように、錐収容室12aは、これと同一方向に伸びる長孔12bを介して、リップ12の上面側の外部に連通している。この長孔12bの中央の位置には、ガイド孔5が配置されている。

【0031】錐収容室12aの一端には、第1実施形態におけると同様に、栓8が取付けられ、この栓8には、停止位置規制手段7が設けられているが、錐収容室12aの他端には、錐位置調整体19が取り付けられている。即ち、錐位置調整体19の外周に雄ネジ部を形成する一方、これに対応する雌ネジ部を錐収容室12aの他端に形成し、錐位置調整体19を錐収容室12aの他端にねじ込んでいる。錐位置調整体19のねじ込み量に応じて、錐3の移動限界位置が調整される。

【0032】ルアーブは、上述したルアーアと同一の方法で使用され、同一の効果がもたらされる。但し、ルアーブにおいては、錐位置調整体19のねじ込み量に応じて、錐3の移動限界位置が調整可能であるため、ルアーブの左右方向における重心のずれを調整して、リトリーブを停止したときのルアーブの傾斜角度を変化させることができる。又、錐3の尖部3bは、長孔12bに沿って移動し、この長孔12bを通して、釣り糸や連結部材6を錐3の孔3cに連結することができる。従って、このような連結作業や連結解除作業が容易に行える。

【0033】次に、本発明の第3実施形態に係るルアーブを、図8乃至図10を参照して以下に説明する。このう

ルアーセンタは、バイプレーションブレグとして構成されたもので、ルアーブ本体21と、一对のトレブルフックH1、H2とから構成されている。

【0034】ルアーブ本体21は、上述したルアーアにおけると同様に、木材、合成樹脂等から成形されたもので、その全体に亘って、小魚を模倣した模様や、様々な色彩パターンを施すことによって、小魚等の餌に擬似させている。但し、このルアーブ本体21は、ルアーアと異なり、リップを有していない。このルアーブ本体21はその上面から上方に突出した背鳍部21cを有している。

【0035】ルアーブ本体21の内部下方には、ルアーセンタの重心を調整するための錐30a、30bが配置されている。勿論、この錐30a、30bは、ルアーセンタの飛行姿勢を安定させて、飛行距離を長くするために、ルアーブ本体21内を移動可能にしてもよく、また、この錐によつて、集魚効果を有する音、所謂、ラトルサウンドを発生させることもできる。

【0036】ルアーブ本体21の前方部分には、錐収容室22aが形成されている。ルアーセンタの部分平面図である

20 図10から明らかなように、錐収容室22aは、その軸線Lがルアーブ本体21の中心軸線CLに対して所定の角度θで交差するように、ルアーブ本体21の左右方向に伸びている。この所定の角度θは、約5度から約60度の範囲内であることが望ましい。錐収容室22aの両端はルアーブ本体21の両側面にそれぞれ開口している。

【0037】錐収容室22aには、錐3が移動可能に配置されている。この錐3の構造及びこれを形成するための使用材料は、第1実施形態に係るルアーアにおけるこれらと同一であるため、その説明を省略する。

30 【0038】ルアーブ本体21の前方且つ上方の部分には、連通孔21dが形成されている。この連通孔21dは、上述した錐収容室22aの中央且つ上方の部分とルアーブ本体21の前方且つ上方の表面とを相互に連通している。連通孔21dの下方部分には第1ガイド孔5aが取り付けられ、その上端部分には第2ガイド孔5bが取り付けられている。

【0039】第3実施形態に係るルアーセンタは、付勢手段としてのスプリング4、停止位置調整手段7及び栓8を有しているが、これらは、第1実施形態に係るルアーアのそれらと同一である。従って、その説明を省略する。

40 更に、このルアーセンタは、錐位置調整体19を有しているが、これは、第2実施形態に係るルアーブのそれと同一である。従って、その説明も省略する。

【0040】第1実施形態に係るルアーアにおけると同様に、錐3には連結部材6の一端が連結されているが、この連結部材の他端は、第1ガイド孔5a及び第2ガイド孔5bを通ってルアーブ本体22の外側に出されている。

【0041】上述したルアーブ本体21の下面中央部及び後端部には、フック取付け用のアイ21a、21bがそ

7

それぞれ設けられており、上記アイ21aに前方のトレブルフックH1がスプリットリングS1を介して取り付けられており、上記アイ21bに後方のトレブルフックH2がスプリットリングS2を介して取り付けられている。

【0042】バイブレーションアラグとして構成されたルアーCは、クランクベイトとして構成されたルアーAと、遊泳姿勢が基本的に異なるが、このルアーCもルアーアと同一の方法で使用され、同一の効果がもたらされる。

【0043】尚、第1乃至第3実施形態において、付勢手段としてのスプリング4の材質、線径、巻きピッチ、外形等を変化させれば、ルアーの大きさ、重量、特性等に応じて、鍾3を移動させるために必要な張力を変化させることができる。

【0044】

【発明の効果】請求項1に記載した本発明によれば、釣り糸を介してルアーをリトリーブすると、鍾が鍾収容室内においてガイド孔付近まで移動するため、従来のルアーと同様の遊泳操作が可能になり、一方、ルアーのリトリーブを停止すると、鍾が付勢手段によって鍾収容室の一方の側に移動し、ルアーの重心が左右の一方に偏るため、ルアーボディの外観と相俟って、恰も傷ついた魚がのたうち回るようなアクションをもたらすことができ、対象魚の捕食性を刺激して、釣果の向上を図ることができる。

【0045】請求項1のルアーにおいて、請求項2に記載した停止位置調整手段を設ければ、ルアーのリトリーブを停止した状態における鍾の停止位置を調整でき、ルアーボディの重心の左右方向への移動量、即ち、ルアーの横倒

8

れの度合いを任意に調節でき、ルアーののたうち動作を大きく変化させ、更なる釣果の向上を図ることができ

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態に係るルアーの一部を断面にした側面図

【図2】図1のルアーにおけるリップの拡大縦断面図

【図3】図1のルアーの平面図

【図4】図1のルアーのリップの一部を断面にした拡大平面図

【図5】図1のルアーにおける鍾の斜視図

【図6】本発明の第2実施形態に係るルアーにおけるリップの拡大平面図

【図7】図6のVII-VIII線断面図

【図8】本発明の第3実施形態に係るルアーの平面図

【図9】図8のルアーの側面図

【図10】図8の部分拡大図

【符号の説明】

A 本発明の第1実施形態に係るルアー

20 B 本発明の第2実施形態に係るルアー

C 本発明の第3実施形態に係るルアー

D 従来のルアー

1、21 ルアーボディ

2a、12a、22a 鍾収容室

3 鍾

4 付勢手段

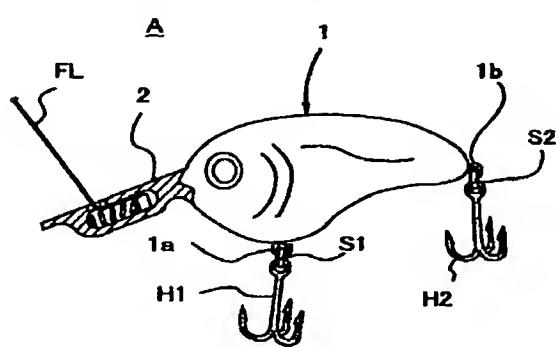
5、5a、5b ガイド孔

6 連結部材

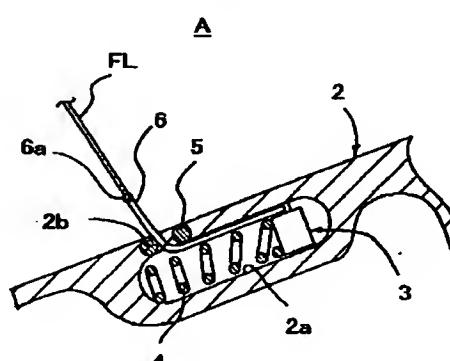
7 停止位置調整手段

30 FL 釣り糸

【図1】

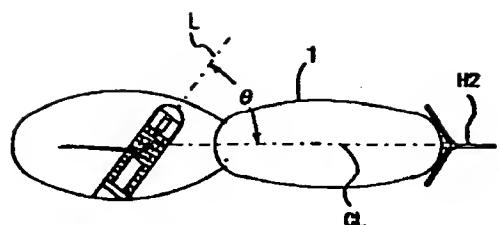


【図2】



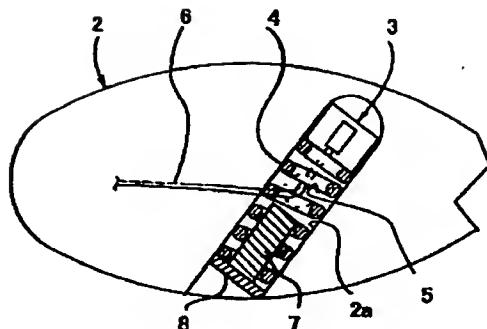
【図3】

A

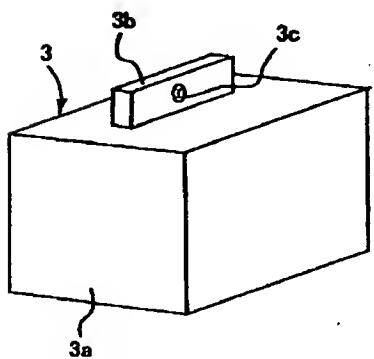


【図4】

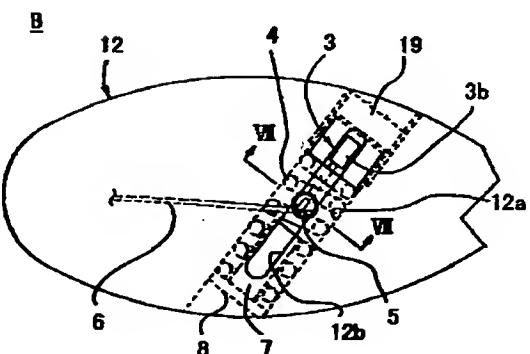
A



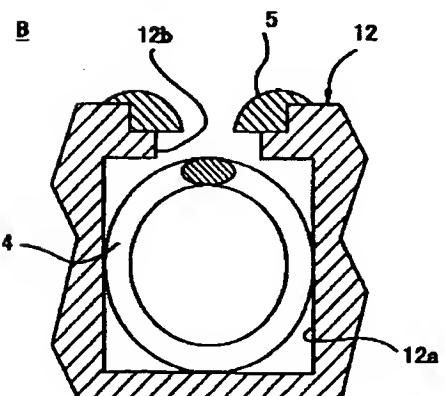
【図5】



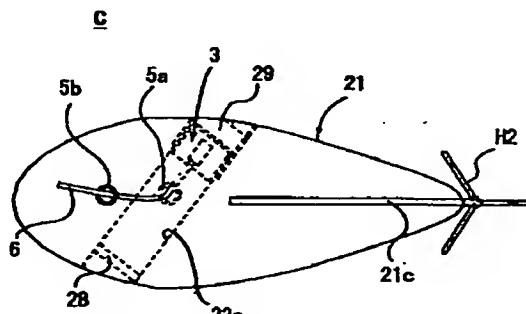
【図6】



【図7】



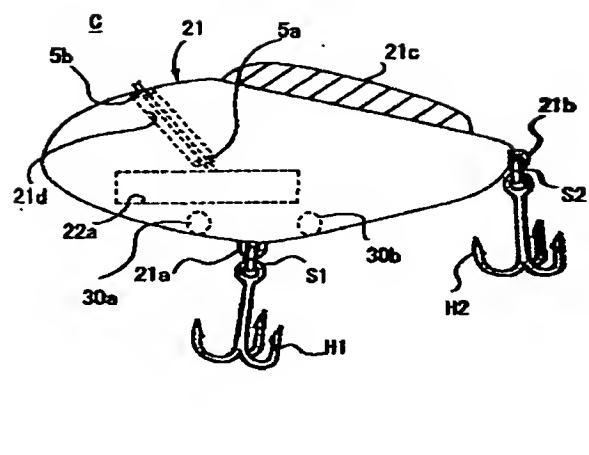
【図8】



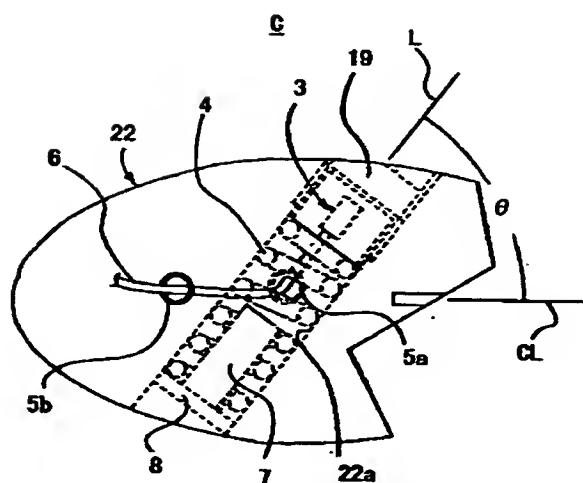
(7)

特開2000-342118

【図9】



【図10】



DERWENT-ACC-NO: 2001-118110

DERWENT-WEEK: 200113

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Fishing lure has guiding hole which leads  
weight storage chamber to the external of lure body, and  
coupler which is coupled with weight and to which fishing  
line is connected

PATENT-ASSIGNEE: RYOBI KK[RYOB]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0153687 (June 1, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2000342118 A	December 12, 2000	N/A
007 A01K 085/16		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2000342118A	N/A	1999JP-0153687
June 1, 1999		

INT-CL (IPC): A01K085/00, A01K085/16

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000342118A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A guiding hole (5) is formed to lead the weight storage chamber (2a), in which a weight (3) is movably arranged, to the external of the lure body. A coupler (6), to which the fishing line is connected, is coupled with the weight through the guiding hole.

DETAILED DESCRIPTION - The weight storage chamber intersects with the central axial line of the lure body at a predetermined angle. A spring (4) energizes

the weight to one side of the weight storage chamber.

USE - None given.

ADVANTAGE - Exhibits action of fish that writhes since the center of gravity of lure body moves to right and left according to the tensile force of fishing line, thus improving fishing.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows an expanded plan view of the lip of the lure in partial cross section.

Weight storage chamber 2a

Weight 3

Spring 4

Guiding hole 5

Coupler 6

CHOSEN-DRAWING: Dwg.4/10

TITLE-TERMS: FISH LURE GUIDE HOLE LEAD WEIGHT STORAGE CHAMBER  
EXTERNAL LURE

BODY COUPLE COUPLE WEIGHT FISH LINE CONNECT

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-087571